

# 指定管理者からの令和4年度事業報告概要

<b>施設名</b>	岡山県天神山文化プラザ
------------	-------------

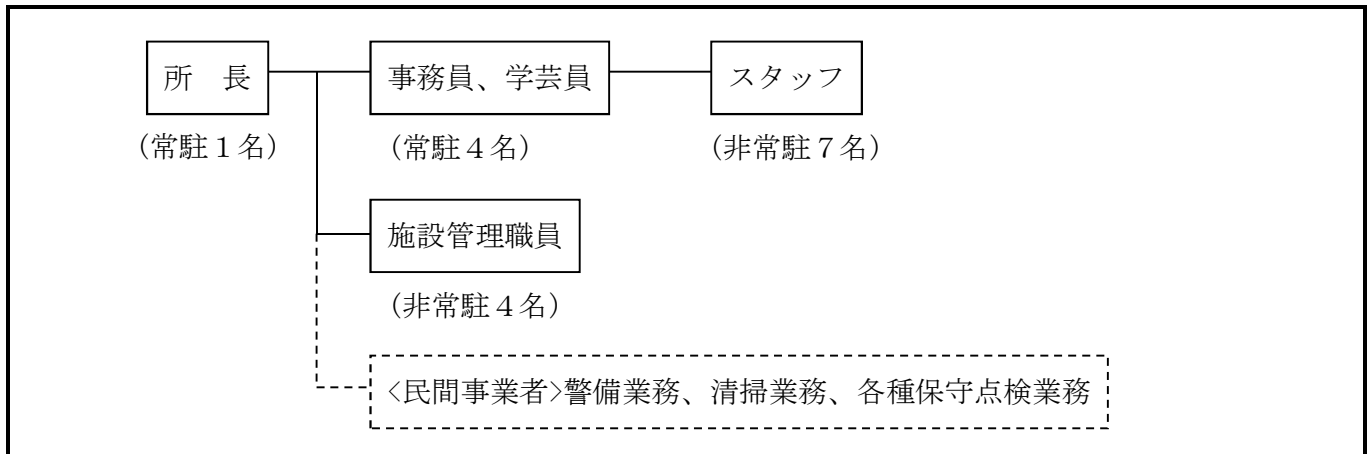
## 【指定管理者の概要】

<b>名称</b>	公益社団法人岡山県文化連盟	<b>代表者</b>	会長 若林 昭吾
<b>所在地</b>	岡山県岡山市北区天神町8番54号		

## 【指定管理の概要】

<b>指定期間</b>	令和3年4月1日～令和8年3月31日	<b>報告期間</b>	令和4年4月1日～令和5年3月31日
<b>管理業務の内容</b>	天神山文化プラザの ・業務の実施に関する事。 ・施設等の維持管理に関する事。 ・利用等の許可に関する事。 ・その他運営に関する事。		

## 【管理体制の状況】



## 【利用等の許可の状況】

(単位：件)

		ホール	練習室	会議室	展示室	設備	合計
許可件数	4年度	198	3,717	509	181	687	5,292
	3年度	130	3,096	280	189	491	4,186
	増減	68	621	229	△8	196	1,106

## 【維持管理の業務の実施の状況】

項目	内容
施設等の維持管理業務	・建物、設備保守管理 ・清掃及び一般廃棄物処理 ・植栽管理 ・警備 ・駐車場管理
施設等の利用許可業務	計5,292件 〔内訳〕施設(貸館)4,605件、設備(機器等)687件
自主企画事業	計35回開催 〔主な内容〕・天プラ・セレクション(展示室) ・土曜劇場(ホール) ・ワークショップ(練習室)

## 【利用料金の収入及び減免の状況等】

(単位：円、件)

	ホール	練習室	会議室	展示室	設備	合計
<b>収入額</b>	4,651,200	4,084,200	1,032,630	17,631,000	1,419,000	28,818,030
<b>利用件数</b>	198	3,717	509	181	687	5,292
<b>減免額</b>	0	0	12,600	522,000	1,500	536,100
<b>減免理由</b>	岡山県が主催する文化事業					

## 指定管理者からの令和4年度事業報告概要

### 【管理に係る収支の状況】

(単位：円)

		4年度		3年度	備 考
			対前年度増減額		
<b>収入額 A</b>		103,546,282	9,644,305	93,901,977	4年度収入額 その他の主なもの ・助成金 1,897,000円
内 訳	指定管理料	72,059,999	3,124,999	68,935,000	
	利用料金収入	28,818,030	6,366,250	22,451,780	
	事業収入	575,400	296,999	278,401	
	その他	2,092,853	△143,943	2,236,796	
<b>支出額 B</b>		102,473,193	8,514,881	93,958,312	4年度支出額 その他の主なもの ・税金 4,215,600円
内 訳	人件費	43,071,347	298,049	42,773,298	
	管理運営費	44,614,696	6,642,033	37,972,663	
	事業費	8,655,370	1,440,199	7,215,171	
	その他	6,131,780	134,600	5,997,180	
<b>収支額 A-B</b>		1,073,089	1,129,424	△56,335	
県への納入金		-	-	-	
<b>実質的な県負担額</b>		68,025,000	0	68,025,000	

### 【特記事項（管理運営業務の実施状況の点検結果）】

点検項目		区分	特記事項（評価すべき点・改善すべき点）
管理 運 営 状 況	①適切な施設 管理の履行	B	事業計画に沿った適切な管理が履行された。
	②法令等の遵守 状況	B	関係法令に基づく義務は適切に履行された。
	③安全性の確保	B	安全管理マニュアルに従い、防火訓練のほか、避難訓練の実施による安全性確保の取組など、安全管理が図られた。
	④財産の適切な 管理	B	老朽化した照明設備のLED化などにより施設の機能向上に向けた適切な管理を行うとともに、収蔵作品の適切な管理が行われた。
導 入 効 果	①利用状況	B	新型コロナウイルス感染症対策を徹底して安全安心な施設として利用促進に努め、感染症を起因とする休館もなかったため、施設全体の利用者数は前年度より48.3%の増加となった。 【利用者数】 R 4 : 183,740人←R 3 : 123,879人
	②収支状況	B	電気料金の高騰により管理運営費が大幅に増加したが、経費削減に努めるとともに、利用料金収入が回復傾向にあることや指定管理料の増額により収支は黒字となった。
	③サービス向上	B	休館日における貸室の臨時開館など、利用者に対するサービス向上への取組がなされた。
<b>管理運営業務全般</b>		B	協定書、事業計画書、収支計画書に基づき、適切に管理運営業務が実施された。

※「区分」欄は、点検結果の区分。区分の内容は次のとおり

A：予定していた業務水準を上回った。

B：予定していた業務水準を概ね実施した。

C：予定していた業務水準の一部が実施できなかった。D：予定していた業務水準を下回った。